

■候補地別評価表（広島広域公園）

項 目		広島広域公園(約60ha) エディオンスタジアム【改修】	
1 用地条件	規模制約	適正規模の施設の配置可能性(3万人規模) (南北方向配置)	・屋根の設置、観客席改修、衛生施設の改修、大型映像施設の不具合への対応が必要である ・東西方向の配置であるが、改修による対応は不可である。 ・サッカー専用とはならない。 〔第一球技場の改修〕 ・第一球技場を標準的な3万人規模に改修する場合、スタンドを全面改修する必要がある。さらに第二球技場の改修も必要となる。
		拡張性	将来の施設の拡張性 (用地の余裕)
	法的制約等	建築基準法	
		都市公園法	公園施設として整備(改修)する必要がある
		その他	・広島市景観計画 景観計画重点地区(西風新都地区) 公共施設及び景観重要公共施設の整備方針等
	用地条件総合評価		
2 環境条件	周辺環境	周辺環境への音、日照などの影響	・現状の施設利用と変更はないため、特に支障はない

■候補地別評価表（広島広域公園）

項 目		広島広域公園(約60ha) エディオンスタジアム【改修】	
3 アクセシビリティ	徒歩・自転車	徒歩・自転車を利用したアクセシビリティ	・市道の歩道幅員は5.0m(確認必要)、自転車歩行者の指定あり ・安佐南4区453号線の歩道幅員は8.0m、自転車歩行者の指定あり
		概ね10年の間に計画されている将来の自転車走行空間整備	短期（5年程度）及び中長期（6～10年）における計画はなし
	公共交通利用	公共交通を利用する際のアクセシビリティ(駅・電停からの所要時間)	アストラムライン【大町、県庁前方面】 「広域公園前」 0.5km 徒歩6分 約90便
		公共交通を利用する際のアクセシビリティ(バス停からの所要時間)	「A・シティ中央バス停」 0.7km 徒歩9分 約90便
		概ね10年の間に計画されている将来の公共交通施策	・アストラムライン延伸事業が計画されている
	自動車利用	幹線道路からの利用性	・1面が幹線道路（市道/4車線）に接している。
		高速ICからの利用性	【東方面】 広島都市高速道路「沼田」 2.4km（6分） 【西方面】 山陽自動車道 「五日市」 1.1km（3分）
		駐車場の有無	約720台
		概ね10年の間に計画されている道路関連施策	
	広域利用	新幹線利用客の利用性	経由地：広島駅～横川駅～A・シティ中央前～候補地 移動手段：鉄道→バス→徒歩 乗換回数：2回 所要時間：30分（鉄道3分、バス18分、徒歩9分） 必要料金：510円 ※試合開催時は横川駅～エスタ間でシャトルバスが運行
飛行機利用客の利用性		経由地：広島空港～中筋駅～広域公園前～候補地 移動手段：リムジンバス→アストラムライン→徒歩 乗換回数：2回 所要時間：66分（リムジンバス38分、アストラムライン22分、徒歩6分） 必要料金：1,700円	
船舶利用客の利用性		経由地：広島港～紙屋町～バスセンター～A・シティ中央バス停前～候補地 移動手段：バス→徒歩→バス→徒歩 乗換回数：2回 所要時間：59分（バス18分、徒歩4分、バス28分、徒歩9分） 必要料金：620円 ※試合開催時は横川駅～エスタ間でシャトルバスが運行	
交通処理の検証結果			
アクセシビリティ総合評価			

■候補地別評価表（広島広域公園）

項 目		広島広域公園(約60ha) エディオンスタジアム【改修】
4 牽引性	サッカー開催時に多数の観客動員が見込まれるとともに、サッカー以外の利活用も含めて、周辺の立地特性や開発プロジェクトとの相乗効果により、広島都市圏の発展を牽引するための中枢性・求心力が得られる場所か	■来場者数 現行13,800人[過去10カ年平均] 都市公園内であるため多機能化や複合開発の内容が制限されることから、相乗効果による牽引性は低く、改修により観戦環境は向上するがピッチとスタンドの関係は改修できないため、来場者数の大きな増加は見込めない
5 発信性	広島を印象づける施設(場所)となり得るか(周辺施設との関係)	スポーツ施設の集積によるスポーツ及びスポーツ文化を発信するエリアとして広島の印象付けが可能
6 付加機能 (多機能化・複合開発)	多機能化や複合開発による収益性が見込める場所か	〔多機能化〕売店(ショップ等)、飲食店、陳列館(ミュージアム等)、市民交流、会議室等は可能性があるが、都市公園のため商業利用は制限される 〔複合開発〕用地余裕はあるが、都市公園のため商業利用は制限される
7 防災機能	周辺の居住者・就業者の避難施設としての必要性	避難場所には指定されていない 緊急時に、敷地内に防災ヘリの着陸が可能 (参考) ■夜間人口 5km圏：96千人 10km圏：790千人 ■従業者数 5km圏：27千人 10km圏：483千人
8 周辺機能との連携	周辺のホテル、商業施設等の既存都市機能との連携の可能性	2km圏内には、大型商業施設が1箇所存在する
9 経済やまちづくりへの波及効果	市域及び立地地域の経済やまちづくりへの波及効果(現在の利用状況を踏まえ、排他性・代替性等のマイナス面の効果も含む)	
10 コスト性	整備コスト	用地取得、建設コスト、周辺インフラ整備コスト
	運営・維持管理コスト	運営・維持管理コスト
	コスト性総合評価	
11 迅速性		施行の容易性(施工期間)、諸問題の克服にようする期間など

